

環境掲示板

植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 5月3日(日) 13:00~14:30

6月7日(日) 13:00~14:30

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ

費用 無料

問合せ 0422-31-9033

森のふくろう

(剪定などの樹木の管理)

主催 森のふくろう(緑のボランティア講座終了生の会)

日時 5月9日(土) 10:00~15:00

5月23日(土) 10:00~15:00

場所 北野中央公園 北野3-6-45

対象 会員及び趣旨に賛同する人

問合せ 大徳

daitokufamily@h4.dion.ne.jp

第47回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会

テーマ 「夏鳥を探そう! 2009 春」

日時 5月9日(土) 9:00~12:00

事前に申込みが必要

参加費 300円

編集後記

桜の季節もすぎ、緑の映える季節になってきました。空気もよく、外に出る機会が多くなると思います。一人ひとりが緑により深い関心をもつことが、緑の保全の第一歩でしょう。今月号は図らずも緑特集となったようです。(安達)

申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp

HP URL <http://www.kansatsukai.net>

不用になった布からはし袋作り

主催 三鷹市

日時 5月14日(木) 13:30~15:30

場所 三鷹市リサイクル市民工房

定員 8名(多数の場合には抽選)

申込 往復はがきで5月14日(木)

必着でごみ対策課(内線2535)に

地球市民講座

「フェアトレード

~世界を変える希望の貿易~」

主催 三鷹市

日時 5月20日(水) 19:00~20:30

場所 三鷹駅前コミュニティセンター
4階多目的室

定員 30名程度(先着順) 無料

申込・問合せ 企画経営室(内線2115)

メール:kikaku@city.mitaka.tokyo.jp

Tシャツからエコ布ぞうりづくり

主催 三鷹市

日時 5月21日(木) 13:00~15:45

場所 三鷹市リサイクル市民工房

定員 8名(多数の場合には抽選)

申込 往復はがきで5月13日(水)

必着でごみ対策課(内線2535)に

発行:みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先:三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

みたか環境ひろば

第12号

2009年5月1日発行

みたかの街路樹

~美観を選ぶか、落ち葉を減らすか?~

広辞苑によると、街路樹とは、「市内の美観・環境保全のために道路に沿って植えつらねた樹木」とされています。三鷹市内の街路樹がある道路には、都道と市道の2種類があり、街路樹の管理者が異なります。都道は、東八道路、人見街道、連雀通り、天文台通り、武蔵境通り、三鷹通り、吉祥寺通りで、東京都北多摩南部建設事務所が管理しています。その他の、かえて通り、中央通り、むらさき橋通り、井の頭公園通り、天神山通り、水車通りなどは、いずれも市道で、その他にも、沢山の市道があり、三鷹市道路交通課が管理しています。街路樹の樹種は、イチヨウ、サクラ、ハナミズキ、トウカエデ、クスノキ、ケヤキ、カツラ、ヤマモモ、ウバメガシなどが選ばれています。

今年の1月、東八道路(三鷹通り~天神山通り間)で、クスノキ、ケヤキなどの多くの街路樹が伐採され、驚かされました。直径が60cm以上もある街路樹も伐採されていました。この木がここまで育つには、多くの歳月がかかっています。時間はお金では買えない大切な宝ものです。東京都の掲示によると、日照や見通しの悪さを解消するため、密植している高木の一部を



三鷹通りのサクラ並木

中木や低木に植え替える工事だそうですが、長期的な視点からは、考えなければならぬ点が多くあるようです。

街路樹の剪定は、樹形を整えるための剪定と、落葉などのために仕方なくされる剪定とがあります。必要以上の剪定は避けるべきですが、最近では過度な剪定が目につくようです。三鷹市では、街路樹の防虫薬剤の使用を差し控える配慮をしています。また、街路美化に関する市民参加の形として、三鷹市みちパートナー制度を創っていて、現在29の市民団体が活動しています。まずは一人でも多くの市民が、まちの緑を見守ることが必要でしょう。緑を守る市民団体が更に増えることを期待したいと思います。(安達)

ICUキャンパスの自然

吉野輝雄（国際基督教大学教養学部教授）

今から37年前、ICUに着任しキャンパスを巡った時の驚きは今でも忘れられない。大学のキャンパスでありながら泰山荘の藁葺き屋根の山門をくぐると雑木林の中に「待合い」という茶室があった。そこから国分寺崖線（ハケ）を下って行くと湧水の小川が流れていて、もう大学の建物は全く視野に入っていない。かつてはワサビ田があったと聞き、さらに驚いた。幼少時代、浦和の田舎で小川や雑木林の中を走り回り、フナや虫を追いかけていた私は、自然に囲まれて仕事ができることがとても嬉しかった。

ICUには武蔵野の豊かな自然が残っていることが段々と分かって来た。キンラン、ギンラン、シロマルバスマシ、フデリンドウ、キツネノカミソリなど他ではめったに見られない野草が季節を告げてくれる。花の写真を趣味としている私には堪らない所だ。これまで四季折々の野草、木の花々をどれだけ撮ったか分からない。ICUキャンパスには正門から続く桜並木、本館前の芝生の梅の木をはじめ敷地内には多様な樹木がある。その多くは植林のお陰だ。最近では、ナンジャモンジャ、アーモンド、オガタマなどの花も楽しめる。秋になるとデューク教授夫妻が残して下さった見事な紅葉が泰山荘付近を染める。このようにICUの自然は野生のものだけでなく、自然を愛する人



桜の頃、ICUキャンパスで憩う市民たちによって守られている。植物だけでなくキャンパスは野鳥や昆虫たちの楽園にもなっている。

桜見の季節には一般にも開放され、桜花のアーチをゆったりと歩く人たちが溢れる。休日には、子ども連れのお母さんが広い芝生で遊んでいる。学内には門のない職員住宅が点在しているので保安と貴重な野草の保護対策が必要であるが、キャンパスの自然を市民と分かち合う機会がもっとあっても良いと思う。

ICUは2007年に環境宣言を作り、「ICUは、そのキャンパスにおいて比類なく美しい自然と貴重な文化遺産を擁している。ICUはこの環境を天恵の財として、その保全に責を負う」と表明した。新たな建築の前に動植物の調査と適切な処置を行うなど、今後のICUの環境への姿勢と真価が問われることになる。

北野中央公園で活動する「森のふくろう」

4月11日(土)三鷹市の緑のボランティア講座の修了生の団体「森のふくろう」の北野中央公園での活動に参加させて頂いた。北野中央公園(北野3-6-45)は、昔、市営苗圃であったところであるが、今は市の街区公園となっている。「森のふくろう」のメンバーは、この公園で、第2・4土曜日の10時から15時まで、樹木の剪定や植替(講座で習った内容の復習・実習など)の活動をしています。この日の作業は、公園内の木の剪定作業でした。この公園では、リンゴ、柿、カリンなど実のなる木が多く、この季節には、ハナモモの紅白の花、ハナカイド



森のふくろうのメンバー

ウ、トキワマンサクの花も咲き、関東タンポポが群生して、明るい雰囲気を作っていました。(安達)

市役所の窓 「わたしとフードマイレージ」

フードマイレージというものを最近よく耳にしませんか。これは、『食食物の生産地から食卓までの距離×重量』で表す数値のことで、生産地と食卓の距離が遠いほどこの数値は大きくなり、CO2の排出量が増加するため、食と環境の指標のひとつとされています。

食料自給率が40%の日本のフードマイレージは約9000億t・km(2001年)で圧倒的に残念な世界一。自給率が低いということは、環境を壊しているということでもあるのです。

これを改善するために私たちにできることは、近くのものを選んで食べること。

学校給食でも、市内農家さんやJA青壮年部の協力により地場産野菜を取り入れています。

わたしはそんな地場産野菜のいいところを子どもたちにも覚えてもらいやすいよう、この様に紹介しています。三鷹の農業が応援できる 誰が作ったかわかるので安心できる ガソリン節約、地球にやさしい 新鮮だからおいしさいっぱい・・・頭文字をつなげて読むと?みなさん、一緒に『み・た・か・し!』はい、おあとがよろしいようで!

第三小学校 荒川 真実